

フォーラム・セミナー報告

TA研修を開催しました

2011年3月28日に第3回TA研修を開催しました。春学期に活動するTA43名のうち、31名が研修に参加しました。TAを活用する先生も1名参加いただきました。

今回の研修は、2部構成で実施しました。第1部は、今学期にはじめてTAとなる新人TAのみの研修、第2部は新人TAとTA経験がある継続TAを交えた研修としました。

第1部では、関西大学教育開発支援センターにおけるTAがどのような活動をしているのかを把握すること、高等教育における政策動向について理解すること、そしてTAの基本的な業務態度や事務的な手続きについて確認することを目的としました。

まずは、TAの活動内容を知るために、新人TAが担当科目や活動内容を紹介していただくことにしました。これにより、理系文系問わず、全学部から多様な職種がTAに期待されていることを共有しました。

その後、私から「高等教育の政策動向」についてミニレクチャーをおこないました。文部科学省の取り組み、アウトカム評価、大学のFDの原点について説明を加えた後、TAに求められている力について検討をしました。そしてその力を培うために、「日々の業務に対するアドバイスを教員から受けること」、「TA活動を省察し、授業方法や学生との接し方などTA活動の改善策を自分なりに実践すること」、「他のTAの活動を参考に、自らの活動を省察すること」について話

をしました。

第2部では、新人TAと継続TAが交流することで、TA同士で学び合う場を設けました。まずはミニレクチャーとして、私から、高等教育における授業改善の手立てとして、授業研究や授業コンサルテーションを紹介し、教員は反省的実践家であることやコミュニティを形成して授業の質を上げるなどについて話しました。

その後、TAはグループに分かれ、ダイアログを行いました。今回のダイアログのテーマは「TA活動の質を上げるために、教員とのやり取りにおける工夫・課題を共有すること」としました。前回の研修では、「各活動におけるやり取りや課題を共有すること」を目的としたため、今回は教員とのやり取りに焦点をあてました。まずは、それぞれの活動内容について紹介し、TA活動を円滑に進めるための教員とのやり取りについて意見を交換しました。その後、グループで話し合った内容を全体に報告しました。

TAからは、「次の授業でどうするかを授業前の時間を使って確認する」など、教員とTAが授業前や後に話し合うことの重要性が指摘されました。一方で、「先生が授業をどう進めるのか、その際、TAにどのような仕事を求めているのかをお互いに理解することができていれば、そこまで密接に連絡を取り合う必要はないのではないか。」との意見も寄せられました。教員とのやり取りは、継続



グループワークにおける発表

年数、活動内容、教員との関係性により変化するため、TAは自分にとってどの程度のやり取りが必要なのかを確認しておく必要性が示されました。ほかにも、「担任の先生に何らかの提案をする機会はあるのか」という新人TAによる投げかけに対して、継続TAが「些細なことでも提案を聞き入れてくれる。教員がそういう機会を与えてくれているので、やってみたらどうか。」との意見が寄せられました。

また、他のTAと話し合うことで「継続して同じ活動を担当しているが、自分は新しい活動ができていないのではないか?と少し反省した。新しいことができるように考えておいた方がいいのではないか」と述べたTAがいるなど、他のTAとの意見を交換したことによって自分の活動を反省的にふりかえる様子が見受けられました。

先生方からTA制度に関するご意見・ご提案をお待ちしています! 連絡は、ciwasaki@kansai-u.ac.jpまでお願いします。

(教育推進部 岩崎千晶)

FD Café を開催しました

4月23日(土)、“FD Café”(新任教員研修会)を開催しました。新年度開始早々の気忙しい時期でありましたが、24名の参加を得ました。昨年度は授業開始前(4月3日)に開店しましたが、今年度は新任校での授業を数回経てからの方が対話の内容にリアリティが増すと考えました。

その他のMENUは昨年度とほぼ同じです。アイスブレイクを兼ねたグルーピングとミラーリングを用いた自己紹介を皮切りに、それぞれのグループが対話を重ね、それを次



昨年のalumniとともに展開されるFD Café②

第に他のグループと共有していく“World Café”へ展開していきました。

各グループから示されたダイアログの内容(ダイジェスト)をここに全て掲載することはできませんので、当日、白板に示されたMind mapの一部だけをキーワードにて紹介することにします。学生の印象としては、「真面目」「素直で社交的」「積極的」「距離が近い」「高い社交性」といった好意的なものもあれば、「学力差」「関心のなさ」「基礎体力不足の大学院生」などの問題点を指摘されました。あるいは「学生の多様性を活かす授業」「学生との距離を縮める授業」「インタラクティブな授業展開のためのミニツッパパーの利用」といった授業作りに関するものもあれば、「私語を少なくする工夫」などの課題・問題点についての言及もありました。

昨年と同様、それぞれについての結論を得ることがCaféの目的ではありません。教師



昨年のalumniとともに展開されるFD Café①

が意見や情報を交換することによって、共通するテーマや課題を発見あるいは発掘し、それに関する知見やアイデアを創出・共有することの意味や価値を実感あるいは予感すること、それが本Caféのねらいです。そのねらいを知る昨年の参加者がalumniとして駆けつけてくださいました。時間に限りがあったため、存分にはご活躍いただけませんでしたが、こうやって少しずつ「土づくり」の輪が広がっていくことを心より願っています。昨年同様、Summer Caféの開催を予定しています。今回、ゆえあって参加できなかった方々も、どうぞ奮ってご参加ください。

(教育推進部 三浦真琴)